

カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム  
新CFPプログラム全国普及セミナー

CFPの取り組みと今後の展開方向について

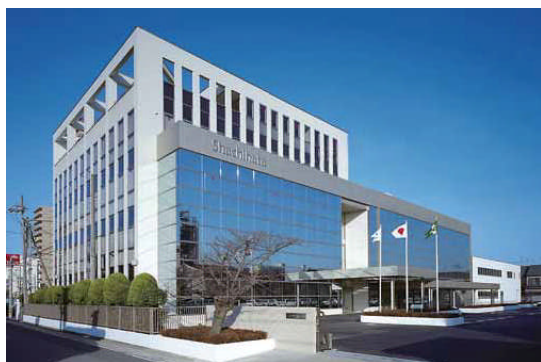


2012年5月9日  
シャチハタ株式会社  
伊藤 一夫



## 目次

1. 会社概要
2. カーボンフットプリントへの取り組み
3. データ収集・算定結果について
4. 今後の展望について



社名 シヤチハタ株式会社  
設立 1941年9月24日  
資本金 7億3,758万円  
年商 (2010年3月期) 単体157億 連結171億  
従業員 656名  
役員 代表取締役会長 舟橋 紳吉郎  
代表取締役社長 舟橋 正剛

3

## 商品ラインナップ



4

2009年度～2011年度  
カーボンフットプリント制度試行事業

2012年度～  
本格運用

(2009年度)

- 文具PCRの策定
- 業界初CFP検証  
「乾きまペン」
- エコプロダクツ展出展
- 「乾きまペン」販売開始

(2010年度)

- 文具PCRの改定
- 「乾きまペン」  
海外生産移管に伴い  
再検証
- 認知度向上へ取り組み  
(消費者、小中高校生  
への理解促進)

(2011年度)

- アルミ本体「油性  
マーカー」の検証

(2012年度～)

- 主力商品での  
カーボンフット  
プリントマーク  
取得

2009年度 カーボンフットプリントへの取り組み

NEWS RELEASE

2010年2月9日

シヤチハタ株式会社

**文房具で初のCO<sub>2</sub>の「見える化」を実現！**  
カーボンフットプリントマークを表示した  
油性マーカー「乾きまペン」を発売します。

この度、シヤチハタ株式会社(代表取締役社長 舟橋正剛 本社:愛知県名古屋市中)では、3月よりカーボンフットプリントを表示した油性マーカー「乾きまペン」の発売を開始します。当社はシヤチハタの「マ」は全角です。

油性マーカー「乾きまペン」は、経済産業省及び関係者庁が推進する「カーボンフットプリント制度試行事業」において認定された「カーボンフットプリントの商品種別算定基準(PCR)」に基づいてCO<sub>2</sub>排出量を算定し、文房具で初めての「カーボンフットプリント」マークの使用が許諾された商品です。(CO<sub>2</sub>総排出量:167g ※今回は黒色でデータ収集を行いました)

カーボンフットプリントは、商品の原材料調達から、生産、流通・販売、使用・維持管理、廃棄・リサイクルまで、ライフサイクルの5つの段階の中で排出された「温室効果ガス」を「CO<sub>2</sub>量」に換算し商品に表示するものです。身近な商品にCO<sub>2</sub>排出量を表示することによって、消費者の皆様にも環境への関心を高めたいと考えています。また、企業におきましては、商品のライフサイクルの中で発生するCO<sub>2</sub>排出量を計算することで、排出量の多い工程や 非効率な工程を把握し、CO<sub>2</sub>削減への取り組みが進み、低炭素社会の実現に貢献する ことができます。

これらも当社では、スタンプ台、朱肉やネームなどの主力商品においてもCO<sub>2</sub>排出量を算出し、CO<sub>2</sub>の「見える化」を通して、カーボンフットプリント制度の実用化と普及に取り組んでまいります。

<このリリースに関するお問い合わせは>  
シヤチハタ株式会社 人事総務部 山口まで  
TEL: 052-521-3433  
FAX: 052-521-3756

**速報** 作業効率UPと環境性、経済性向上を実現する油性マーカー  
Artline(乾きまペン)は、乾きまペン(油性マーカー)です。

**シヤチハタの油性マーカー乾きまペンが「カーボンフットプリント」マークの認定を受けました！！**

**油性マーカーでCO<sub>2</sub>の「見える化」を実現** **文具業界認定第1号**

シヤチハタ株式会社は、この度、油性マーカー「乾きまペン」で経済産業省の「カーボンフットプリント制度試行事業」に参加し、認定を受けました。

カーボンフットプリントは、商品の5つの段階から、①調達、②生産、③流通・販売、④使用・維持管理、⑤廃棄・リサイクルまで、ライフサイクルの5つの段階の中で発生したCO<sub>2</sub>排出量を算定し、「CO<sub>2</sub>量」に換算するものです。それぞれの段階で発生したCO<sub>2</sub>排出量を計算し、算出します。

経済産業省及び関係者庁が推進する「カーボンフットプリント制度試行事業」において、当社は「乾きまペン」について「カーボンフットプリント」マークの使用が許諾されました。これは文具業界では第1号となります。

これにより当社では、作業効率に即ちCO<sub>2</sub>削減量の多い工程も明確に把握し、CO<sub>2</sub>削減への取り組みがより進み、低炭素社会の実現に貢献する取り組みが期待されています。

**作業効率UPのポイント**

ペン芯が約2週間  
キャップなしでも乾きません！  
ペン芯が固く  
書きやすい  
乾きまペン

**環境と経済性のポイント**

無毒無臭で安全です！  
インクが乾き残る心配がほとんどありません。  
乾きまペン

## 2009年度 カーボンフットプリントへの取り組み

---

### エコプロダクツ展

- ・ 日時：2009年12月10日（木）～12日（土）
- ・ 場所：ビッグサイト（東京）
- ・ 内容：認知度向上に向けた取り組み紹介および消費者受容性の調査

※2010年1月5日 NHK「経済最前線」「おはよう日本」で紹介されました。



7

## 2010年度 カーボンフットプリントへの取り組み

---

### 消費者・小中高校生への理解促進

- ・ 日時：2010年11月13日（土）
- ・ 場所：ウインク愛知（愛知）
- ・ 対象：消費者（学生、自治体等、環境/消費者団体、企業、個人）
- ・ 日時：2010年12月10日（金）
- ・ 場所：エコプロダクツ展（東京）
- ・ 対象：相模原市立 藤野北小学校  
市川市立 稲越小学校



8

## 2010年度 カーボンフットプリントへの取り組み

### カーボン・オフセットの活用事例●(商品使用・サービス利用オフセット)

シヤチハタ 油性マーカーArtline

シヤチハタは2010年に海外市場向け商品を対象としたカーボンオフセットを実施。オーストラリア向けの販売商品「Artline(油性マーカー)」について、製造時などに発生するCO2排出量をインドの風力発電プロジェクトからなる排出権でカーボンオフセットしました。

現地でもメディアに取り上げられ、ご好評頂いております。

オフセットの分類	商品使用・サービス利用オフセット
オフセット費用負担	シヤチハタ
クレジットの種類	CER
プロジェクト種類	インド・風力発電プログラム
プロバイダー	三菱UFJリース
無効化	日本政府の取消口座へ移転(無効化完了)



9

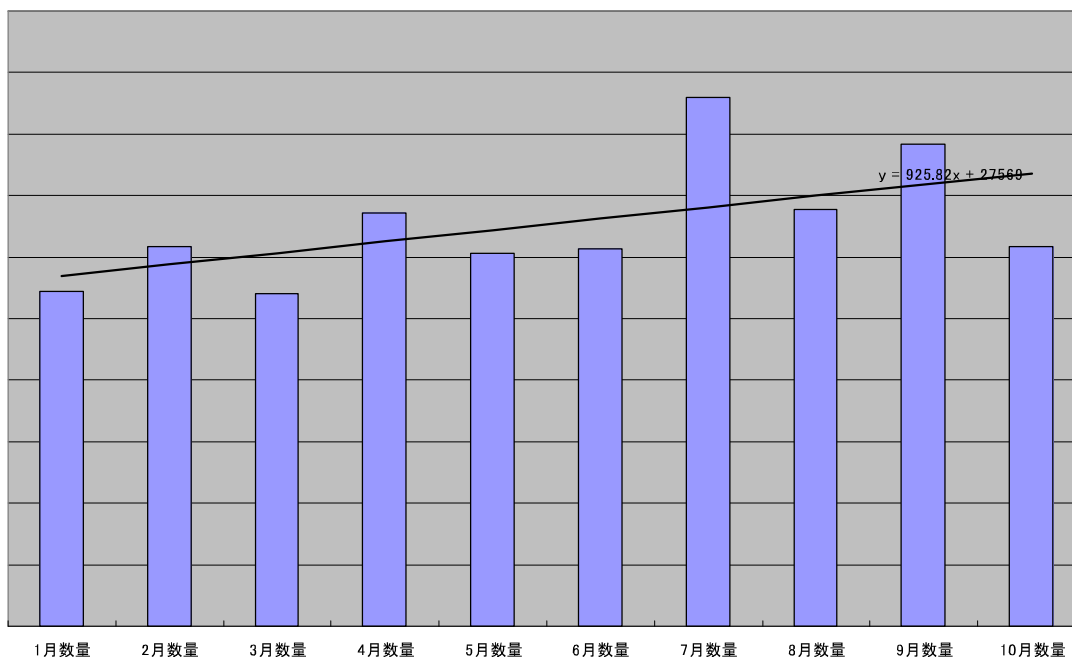
## カーボンフットプリントの効果



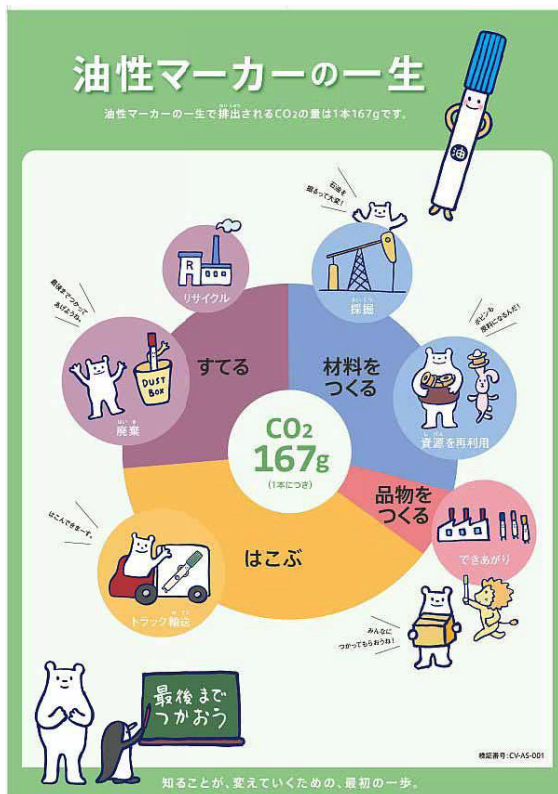
### 2010年 油性マーカー<乾きまペン>売上実績



2010年 乾きまペン(カーボンフットプリント) 売上実績



10

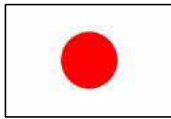


- ① 原材料調達段階 (材料をつくる)
  - ・ 原材料製造
  - ・ 原材料輸送
- ② 生産段階 (品物をつくる)
  - ・ 中間製品生産
  - ・ 中間製品輸送
  - ・ 中間製品ロス廃棄物輸送・処理・燃焼
  - ・ 組立加工
  - ・ 組立生産ロス廃棄物輸送・処理・燃焼
- ③ 流通販売段階 (はこぶ)
  - ・ 輸送
  - ・ 販売
- ④ 使用・維持管理段階
- ⑤ 廃棄リサイクル段階 (すてる)
  - ・ 廃棄リサイクル輸送
  - ・ 廃棄物処理
  - ・ 廃棄物そのものの燃焼

年度	2009年	2010年	2011年
製品名	乾きまペン	乾きまペン	油性マーカー 丸3/角5
製品			
生産地	日本	マレーシア	マレーシア
カーボンフットプリント			
本体材質	再生プラスチック	再生プラスチック	アルミニウム

## 生産地の違いによるカーボンフットプリント値への影響

### <日本生産>



原材料調達段階	生産段階	流通・販売段階	使用・維持管理段階	廃棄・リサイクル段階	合計
49g	12g	61g	0g	45g	167g



### <マレーシア生産>

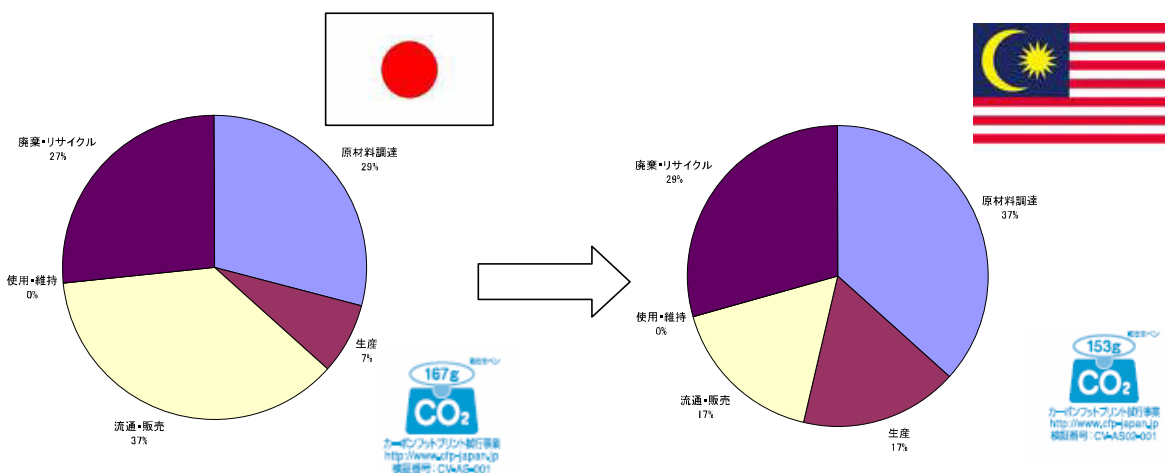


原材料調達段階	生産段階	流通段階	使用・維持管理段階	廃棄・リサイクル段階	合計
56g	26g	26g	0g	45g	153g



販売プロセスが暫定的に算定対象外となったことにより、1本あたり約14gのCO2相当量減となりました(8%減)。

## 生産地の違いによるカーボンフットプリント値への影響



1. 原材料調達段階の負荷が約4割  
→CO2の削減には、軽量化やCO2排出量原単位の低い素材選定がポイント。

2. 流通・販売段階  
→販売プロセスについては、適切な算定方法が整備されるまでの間、暫定的に算定対象外。

## 本体材料の違いによるカーボンフットプリント値への影響

### <アルミ製本体>

原材料調達段階	生産段階	流通段階	使用・維持管理段階	廃棄・リサイクル段階	合計
104g	50g	9g	0g	18g	181g



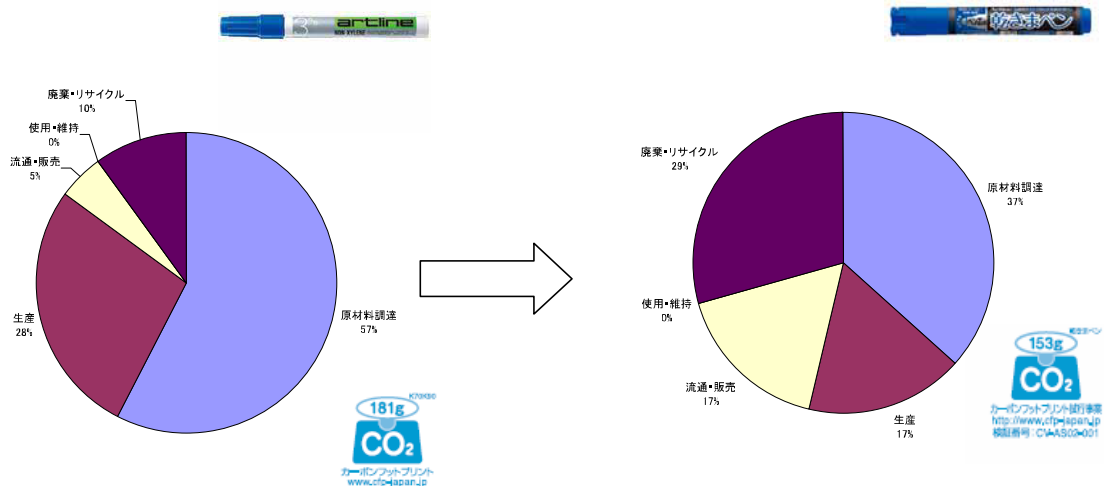
### <再生プラスチック製本体>

原材料調達段階	生産段階	流通段階	使用・維持管理段階	廃棄・リサイクル段階	合計
56g	26g	26g	0g	45g	153g



乾きまペンは再生プラスチックを使用していることなどで28g CO<sub>2</sub>相当量を削減していることがわかりました(15%削減)。

## 本体材料の違いによるカーボンフットプリント値への影響



1. 本体材料をアルミから再生材へ  
→CO<sub>2</sub>を28g削減!  
削減率は15%!  
(181g→153g)

2. 原材料調達段階  
→CO<sub>2</sub>排出量が約半分に  
大幅ダウン(104g→56g)。  
再生プラスチックを本体に使用  
することで環境配慮した設計に。



## 【カーボンフットプリント 今後の展望】

- ① **温暖化ガス排出量をどのように減らすか**  
サプライチェーンでの取り組みが必要となる。
- ② **フットプリントをいかにマーケットで活かすか**  
現段階では一般消費者の認知度は低い。
- ③ **膨大な計算データの維持・管理体制**  
多品種少量型の製造業ではデータの維持・管理体制の構築が課題。

17

今後とも環境保全の取組みをさらに進め、  
低炭素社会の実現に貢献していきます。



X

